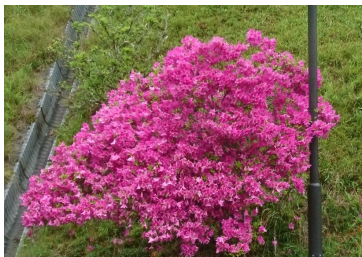


令和元年度
事業報告書



悠楽園裏庭のつつじ 令和2年4月

社会福祉法人 徳成会
特別養護老人ホーム 悠楽園

令和元年度事業報告書目次

I、法人及び施設の沿革	1
II、概要	3
III、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用者の状況	
1、月別利用状況	5
2、男女別要介護度の状況	6
3、年齢別状況	6
4、市町村別利用者の状況	7
5、入院、退院の状況	8
6、面会の状況	8
7、日課	9
8、主な月別年間実施行事、来園者、及び研修内容	10
9、給食の状況、栄養マネジメント	
1)給食の状況	13
2)栄養マネジメント	15
IV、居宅介護サービス、生活支援ハウス	
1、平成23年4月から令和2年3月までの在宅サービス利用状況	17
2、短期入所生活介護	
1)短期入所生活介護利用状況(市町村別)	18
2)短期入所生活介護月別利用者数(要介護度別)	18
3)短期入所生活介護月別利用延べ日数(要介護度別)	18
3、令和元年度空床型特養の利用状況	19
4、通所介護	
1)通所介護利用状況(市町村別)	20

2)通所介護月別利用者数(要介護度別)	20
3)通所介護月別利用延べ日数(要介護度別)	20
4)通所介護日課表	21
5)年間行事	21
5、居宅介護支援事業	22
6、給食サービス	23
7、生活支援ハウス	
1)利用状況	24
2)年間行事	24
3)建物、設備の保守、修理	24
V、令和元年度実施事業	25

I、法人及び施設の沿革

社会福祉法人 徳成会

特別養護老人ホーム 悠楽園
悠楽園 生活支援ハウス
居宅介護サービス事業

奈良県宇陀市榛原檜牧 5 8 4 番地

敷地面積 10,079.54 m²

建物延面積 2,762.57 m²

定員 5 0 名

定員 1 0 名

短期入所生活介護、介護予防短期入所生活介護 定員 6 名

通所介護、第 1 号通所介護 定員 2 0 名

居宅介護支援事業

配食サービス

平成元年 7 月 15 日
平成元年 7 月 18 日
平成 元年 6 月 24 日
平成 2 年 3 月 31 日
平成 2 年 5 月 1 日
平成 5 年 6 月
平成 8 年 4 月
平成 8 年 8 月
平成 9 年 3 月
平成 11 年 9 月
平成 11 年 10 月
平成 11 年 10 月
平成 11 年 10 月
平成 12 年 1 月

社会福祉法人 徳成会 設立許可（奈良県指令高福第 8 5 号）
社会福祉法人 徳成会 設立登記
特別養護老人ホーム 悠楽園 着工
特別養護老人ホーム 悠楽園 竣工
特別養護老人ホーム 悠楽園 事業開始
通所入浴サービス事業開始
給食サービス事業開始
地域交流ホーム 着工
地域交流ホーム 竣工
短期入所生活介護の定員を 4 名から 6 名に増員
居宅介護支援事業開始
通所入浴サービス事業廃止
通所介護（デイサービス・サテライト型）事業開始
訪問介護（ホームヘルプ）事業開始

令和元年度事業報告

平成 12 年 5 月	給食サービスの配達開始
平成 12 年 11 月	仮称悠楽園高齢者生活福祉センター着工
平成 13 年 8 月	仮称悠楽園高齢者生活福祉センター竣工
名称を「悠楽園デイサービスセンター、悠楽園訪問介護ステーション、及び、悠楽園生活支援ハウス」と決定	
平成 13 年 8 月	デイサービス・サテライト型廃止
平成 13 年 8 月	悠楽園デイサービスセンター（老人デイサービスセンター）事業開始
平成 13 年 10 月	悠楽園生活支援ハウス事業開始
平成 14 年 1 月	社会福祉法人 徳成会 評議員会設置
平成 14 年 4 月	デイサービス（通所介護）事業の定員を 10 名から 15 名に増員
平成 15 年 11 月	デイサービス（通所介護）事業の定員を 15 名から 20 名に増員
平成 18 年 4 月	介護予防事業（短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援） 開始（居宅介護支援は宇陀市地域包括支援センターより介護予防サービス 計画作成業務を委託される）
平成 20 年 5 月	訪問介護、及び介護予防訪問介護事業を廃止 デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 20 名から 25 名に増員
平成 20 年 12 月	デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 25 名から 30 名に増員
平成 24 年 4 月	デイサービス（通所介護、介護予防通所介護）事業の定員を 30 名から 20 名に減員
平成 24 年 7 月	理事長 森家 裕 退任 森家 誠 就任
平成 27 年 10 月	特別養護老人ホーム 悠楽園リニューアル工事設計開始
平成 28 年 6 月	特別養護老人ホーム 悠楽園リニューアル工事完成

Ⅱ、概要

平成30年度は職員体勢も十分とは言えないまでも新しい人材が集まりつつあり、年度初めから取り組んだ、認定特定行為業務従事者認定（省令別表第二号）研修（口腔内、鼻腔内、胃ろう腸ろう）の受講が無事終了し、以前に県知事認定の喀痰吸引のみ認められていた有資格者も含め、大多数の介護職員が認定された。平成31年度（令和元年度）は新しく入職した職員の受講と一部の介護福祉士未取得者の受験に取り組んでいる。時間が許す限り出来る範囲内で、OJT（職場内トレーニング）を含め、機会がある毎に資質向上に努め、介護の質を高め、ご利用者やご家族の要望に応えられる様に努力したい。しかしながら昨年度までは順調に推移していた施設運営において、本年度（平成30年度、令和元年度）に入り、例年に無く多くの事が起こった。

昨年度末に、長年委託していた給食会社の（株）ナリコマエンタープライズとの契約が打ち切りとなり、給食会社の社員の大半が移動させられた。働き方改革の一環として委託していた会社の都合によるものであったが、急遽当法人として厨房職員を求人した。困難を極めたが、ロコミや職場内の職種変更により急場をしのぐ事が出来た。当初、食材は元委託会社の（株）ナリコマエンタープライズから納入したが、9月からクックチルにより（株）タクサンより仕入れている。給食会社が替わったことにより生の野菜や果物が入り、鮮度がレベルアップした。厨房内の作業は増えたが、ご利用者に好評である。

12月に宇陀市のwebサイトに特別養護老人ホーム悠楽園で虐待の可能性がある旨の匿名の通報があった。宇陀市による調査の結果虐待に該当すると判断され、県と宇陀市による実地指導が行われた結果、改善計画を作成する事となった。安全ベルトの使用や身体を搔く人へのミトン使用、専門医への受診が遅い等が指摘された。事故を起したくないとの現場の思いが優先し、又、ご利用者への声掛けが子ども扱いの様な職員も居り、心理的にも虐待であると感じていた職員も居た。お互いに注意しあえる雰囲気や環境でなかった事が反省される。職員研修や施設内での委員会の開催に加え、来年度からは高齢者虐待防止のための第三者委員会を立ち上げる予定である。令和2年度は、積年の驕りを取り除

令和元年度事業報告

き、介護の基本に立ち返って一步一步確実に改善策に取り組みたい。

令和2年に入って中国発の新型コロナウイルスが各地で蔓延し、対応に追われている。当施設では、施設内感染すれば命に係わるご利用者が多くいる。定期的にトイレやテーブル、手すり等の消毒を行い、施設内に入る人は体温の測定、手洗い、うがい等感染対策を徹底している。一人でも感染者が発生すればご利用者と職員、そのご家族も不幸である。元気な人でも感染している可能性があるので、無症状であっても人に感染させない様にしなければならない。職員には休日であっても外出時はマスクを着用し、三密になる様な店舗や満員電車等を利用しない様に指導している。そしてマスクや消毒剤等の消耗品も、当分の間は在庫があるものの補充できない状態が続いている。枯渇する前に出来るだけ節約できるような方法や代用品を考えなくてはならない。多少価格が高くとも入手する様に務めている。

コロナ対策によるご利用者のご家族への面会の自粛から、3か月近く経とうとしている。ご利用者やご家族の気持ちを考えるとあまりにも長期間に渡る自粛は人道的に問題があると思われるので、ご希望のご家族には玄関横のガラス越しにお顔を見ながら、電話を利用して会話できる様にしている。密にならない様に予約制であるが、今後パソコンやスマートホン等による遠隔対話もできる様に環境を整える準備をしている。

ご利用者の状況は、新型コロナの対策で衛生管理を徹底した為か、冬場のノロウイルスやインフルエンザの感染は皆無であった。施設内行事は年度後半にボランティアの人に自粛して頂いた為、施設職員によるもののみとなったが、調理レクレーションや習字等、それなりに工夫して行った。

今は目先の事で手一杯であるが、もう一度基本に帰り IRLM-001 ご利用者やご家族との視野の広い長続きする信頼関係を築いていく事を法人の目的としたい。コロナの影響かどうか不明であるが、特養の待機者は平成29年3月で28名、令和元年3月で13名である。

Ⅲ、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の利用者の状況

1、月別利用状況

(単位:人・%)

月	入園者数	退園者数		月初日現在 入所者数	延べ 利用日数	利用率	介護度						介護度 平均
		死亡	その他の理由				要支援	1	2	3	4	5	
3				48									
4	0	0	0	48	1,438	95.9	0	0	0	6	24	18	4.25
5	0	1	0	48	1,484	95.7	0	0	0	6	24	17	4.15
6	1	0	0	48	1,410	94.0	0	0	0	5	26	17	4.25
7	0	0	1	48	1,455	93.9	0	0	0	5	24	18	4.19
8	1	0	0	48	1,473	95.0	0	0	0	6	23	19	4.27
9	0	0	1	48	1,410	94.0	0	0	0	6	22	19	4.19
10	1	2	0	47	1,433	92.5	0	0	0	6	22	18	4.17
11	0	3	0	46	1,344	89.6	0	0	0	6	22	15	3.93
12	1	0	0	44	1,364	88.0	0	0	0	8	22	14	4.14
1	1	1	0	44	1,359	87.7	0	0	0	9	22	13	4.09
2	3	0	0	47	1,360	97.1	0	0	0	9	24	14	4.11
3	0	1	0	47	1,431	92.3	0	0	0	9	24	13	4.00
年間	8	8	2		16,961	92.9							4.14

令和元年度事業報告書

2、男女別要介護度の状況

(単位:人・度)

	男	女	合 計
要介護度1	0	0	0
要介護度2	0	0	0
要介護度3	0	9	9
要介護度4	1	23	24
要介護度5	1	12	13
平均介護度	4.50	4.07	4.09

(令和2年3月31日現在)

3、年齢別状況

(単位:人・%)

	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上 95歳未満	95歳以上	合計	平均年齢
男	0	0	0	0	0	1	1	0	2	88.0
女	0	0	2	2	3	13	17	7	44	89.4
計	0	0	2	2	3	14	18	7	46	89.5
構成比	0.0	0.0	4.3	4.3	6.5	30.4	39.1	15.2	100.0	

(令和2年3月31日現在)

4、市町村別利用の状況

(単位:人・%)

	前 住 所 地	男	女	計	構成比
県 内	榛原	2	33	35	76.0
	菟田野	0	1	1	2.2
	大宇陀	0	4	4	8.7
	宇陀市 合計	2	38	40	86.9
	曾爾村	0	3	3	6.5
	御杖村	0	1	1	2.2
	奈良市	0	1	1	2.2
	田原本	0	1	1	2.2
	小 計	2	44	46	100

(令和2年3月31日現在)

(単位:人・%)

	前 住 所 地	男	女	計	構成比
県 外		0	0	0	0.0
	小 計	0	0	0	0.0

5、入院、退院の状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	男	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	計	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
退院	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

半角

6、面会の状況

令和元年

平成31年度個人別面会回数(短期入所生活介護を含む)

(単位:回・人)

回数	0	1	2~5	6~10	11~15	16~20	21~30	31~40	41~
人数	14	4	21	14	16	6	5	2	3

主な面会者と利用者との関係(短期入所生活介護を含む) (単位:回)

続柄	配偶者	子供	兄弟	親族	その他	総回数
回数	38	630	39	95	80	882

7、日課

[illegible]

注:おむつ交換・トイレ案内と清拭は定時以外に必要に応じ随時

8、主な月別年間実施行事、来園者、及び研修内容

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
4月	歯科Dr来園(毎月) 本館清掃(毎日、土日以外) 濾過機点検、修理(毎月) 血液検査 ケアコム 不在者投票 デイ自動ドア修理 アトレー車検 WAX1F	喫茶店(毎月) 誕生日会(毎月) 散髪(毎月)	お話会ボランティア(毎月) アコーディオン演奏ボランティア(毎月)	給食会議(毎月) 介護職会議(随時) 部門長会議(随時) 新人研修(随時) 感染症対策会議(随時) 褥瘡予防委員会会議 事故防止委員会会議 身体拘束委員会会議 第1回UTR世話人会
5月	毎月行事 浄水器交換 厨房流し台入替 グリストラップ清掃 厨房カラン取替 エレベーター点検 ボイラー点検 自動ドア点検 WAX2F	毎月行事 開園記念 母の日	毎月行事 介護相談員 仏教婦人会ビハーラ リズム体操ボランティア(隔月)	毎月会議 奈良県労働基準協会定時総会 奈良県老人福祉施設協議会第1回通常総会 不在者投票事務打合わせ会 奈良県福祉施設士会第1回役員会 宇陀市ケアマネ連絡会
6月	毎月行事 消防点検 消防危険物検査 WAX1F 理事会 宇陀けあネット 消防無線点検	毎月行事 父の日	毎月行事 介護相談員	毎月会議 奈良県老人福祉施設協議会第2回情報発信委員会
7月	毎月行事 消防設備点検 ダンボール回収 WAX2F サンバー車検 期日前投票	毎月行事 冬布団引き取り 夏布団納入	毎月行事 介護相談員 仏教婦人会ビハーラ リズム体操ボランティア コーラスおもちゃ箱 生活支援ハウス見学	毎月会議 奈良県老人福祉施設協議会第1回施設長連絡会議 安全運転管理者講習 奈良県経営協セミナー(前期)・情報交換会 奈良県福祉施設士会セミナー UTR研修会 褥瘡予防委員会会議 事故防止委員会会議 身体拘束委員会会議

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
8月	毎月行事 電柱のメーター交換 自動ドア点検 エレベーター点検 WAX1F	毎月行事 夏祭り	毎月行事 介護相談員 ジュニアお話隊	毎月会議 在宅褥瘡傷ケアセミナー UTR研修会
9月	毎月行事 ボイラー点検 WAX2F	毎月行事 敬老会	毎月行事 介護相談員 仏教婦人会ビハーラ 榛原小学校運動会鑑賞 リズム体操ボランティア	毎月会議 奈良県福祉施設士会役員会 交通安全功労者及び優良団体表彰の受賞と表彰式 都道府県医療介護連携調整実証事業病院・ ケアマネ・訪問看護合同会議 宇陀市ケアマネ連絡会
10月	毎月行事 害虫駆除 食器洗浄機入替 郵貯ネットバンキング説明 WAX1F	毎月行事 宇陀市社会福祉大会 バーベキュー大会 夏布団引上げ 冬布団納入	毎月行事 介護相談員 天理教宇陀支部婦人会奉仕作業	毎月会議 奈良県認定調査員現任研修 UTR世話人会 褥瘡予防委員会会議 事故防止委員会会議 身体拘束委員会会議
11月	毎月行事 デリカート点検 健康診断 エレベーター点検 デイ配膳車修理 インフルエンザ予防接種 WAX2F タイヤ交換 自動ドア点検	毎月行事 消防訓練	毎月行事 介護相談員 仏教婦人会ビハーラ リズム体操ボランティア	毎月会議 宇陀けあネット キックオフ会議 宇陀市ケアマネ連絡会
12月	毎月行事 ムーブ車検 奈良県より西谷地区調査 汚泥引き上げ・タンク清掃 タイヤ交換 消防設備点検 WAX1F 配膳車修理 ダンボール回収	毎月行事 餅つき大会 門松作成	毎月行事 介護相談員 クリスマス会(ハートスマイル) 円隆寺仏教婦人会清掃奉仕作業	毎月会議 日本人の食事摂取基準研修会 宇陀市医療・介護連携シンポジウム

	総務、法人関係	行事	慰問、ボランティア、研修、見学実習	職員研修、会議
1月	毎月行事 ボイラー点検 生活支援ハウス天井修理 WAX2F 機械浴修理 冷蔵庫修理 宇陀ケアネット	毎月行事 お正月祝い膳 門松撤去	介護相談員 お話会	毎月会議 奈良県高齢者虐待防止研修 HACCPの考えを取り入れた衛生管理研修会 宇陀市ケアマネ連絡会 褥瘡予防委員会会議 事故防止委員会会議 身体拘束委員会会議
2月	毎月行事 エレベーター点検 自動ドア点検 特浴暖房機の修理 WAX1F 浄化槽点検 洗浄機点検	毎月行事 節分	新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 高齢者権利擁護推進事業福祉後見推進フォーラム 日本福祉施設士会第30回近畿ブロックセミナー 在宅歯科医療口腔保健研修会 奈良県福祉施設士会県外視察研修 介護支援専門員研修会 手洗い講習会
3月	毎月行事 タイヤ交換 WAX2F 排水設備修理 往診飯岡皮膚科 カーテン取付 オイル交換 水質検査 タンク引上げ 耐震装置修理	毎月行事 ひなまつり	新型コロナウイルス感染流行のため ボランティア中止	毎月会議 奈良県老人福祉施設協議会 虐待防止講習
他に毎月又は、随時実施するもの ◎ 買物、ミニ喫茶 クラブ活動として ◎ 音楽クラブ（歌唱、カラオケ等） 戸外散策、習字クラブ、レクリエーションクラブ、貼り絵、ぬり絵等 水質検査 － 大和环境センター 浄化槽点検 － 宇陀環境開発（株） エレベーター点検 － 日立エレベーター（株） ワックス掛け － ビーワーク				

9、給食の状況、栄養マネジメント

1) 給食の状況

長年（株）ナリコマエンタープライズに委託し、食事を提供してきたが、昨今の働き方改革による人材不足と人件費の値上がり、食材の高騰により給食会社が平成 30 年度末で契約の打ち切りを申し出てきた。「食材は提供できるが人が居ないので運営できない。自前で雇用してほしい。」との事。急遽他の給食会社も打診したがどこの給食会社も人材不足である。先方の人材確保の問題で、平成 31 年 4 月から厨房職員を社会福祉法人徳成会で採用し、食材のみ（株）ナリコマエンタープライズより納入する事となった。一度に厨房職員の大半が移動して行き求人が困難を極めたが、ロコミや職場内での職種変更により急場をしのぐ事が出来た。令和元年 9 月からは食材を（株）タクサンよりクックチル方式により納入している。（株）タクサンの食材に代わり、悠楽園の厨房の加工は工程が増えたが、野菜と果物の生が提供され鮮度が画期的に良くなり美味しくなった。ご利用者がとても喜んでいる。

1. 衛生管理など

水質管理、食品の温度管理は例年どおり規定を遵守している。

食中毒や感染症などの発生時には次亜塩素酸ナトリウムでの消毒や使い捨て食器を使用し、二次感染予防を徹底して行っている。今年度も食中毒に罹患した利用者様・職員はいなかった。

平成 30 年に「食品衛生法等の一部を改正する法律」が公布され、すべての食品事業者が H A C C P に沿った衛生管理を行うことが義務付けられた。令和 2 年 6 月 1 日より施行となり、当施設でもさらに安全安心な食事の提供を目指し管理体制の見直しを図りたい。

2. 食事内容について

昨年 9 月より委託給食会社に変更となった。献立内容が新しくなり利用者様にも喜んでいただいている。

担当栄養士とこまめに連絡を取りあい、喫食される方一人ひとりにあわせたきめ細やかな対応を心がけている。

食材はクックチル対応で、普通食のみの配送のため介護食に展開している。

食事形態は各利用者様の摂食・嚥下機能に合った形態で提供できるように普通食・一口大食・刻み食・ソフト食・ミキサ

一食の5種で提供し、状態に合わせて変更を行う。

年に1回の嗜好調査と食事時のラウンド中の聞き取りや残食を記録し、献立内容の参考にしている。

食物アレルギーのある方には、禁止食材の代替食の提供を行い食事摂取量が減ることのないようにしている。

又、各イベント・季節に合ったお楽しみメニューや祝い膳の松花堂弁当（正月、開園記念、敬老の日）を提供した。

3. 喫茶店・料理レクリエーションなど

特養では毎月1回誕生日会と兼ねて喫茶店を実施した。喫茶店では季節の行事にちなんだお菓子（桜もち・チョコレートフォンデュ・スイートパンプキン・クリスマスケーキなど）の提供や、簡単なおやつ作りを行った。

デイサービスでは毎月2回調理レクリエーションを行い、季節を感じていただけるお菓子やアレンジの効くホットケーキミックスを使用したお菓子作りを行った。デイサービスの利用者様には機能訓練も兼ねているため手先のリハビリになるよう作業工程の多いレシピを選んでいる。

又、特養・デイサービス（支援ハウス入居者含む）の合同行事で夏祭りとバーベキューを実施した。

4. 給食会議

管理者、栄養士、看護師、ケアマネージャー、介護職員、厨房職員が参加し、毎月1回給食に関する会議を開催している。

日々の食事に対する意見や、改善点などを多職種で話し合い、安全でおいしい食事提供ができるよう有効に機能している。

5. 厨房内の改良・保守など

調理台2台、炊飯器、冷蔵庫の買い替えを行った。

給食会社変更により献立内容が変更になるためメイン皿、小鉢2種も新しいものに交換した。

2) 栄養マネジメント

1. 栄養スクリーニングの実施

BMI、体重減少率、血清アルブミン値、食事摂取量、褥瘡の有無などから低栄養状態のリスク判定を行っている。

リスク判定の内訳は令和2年3月末で、低リスク者 20名・中リスク者 21名、高リスク者 4名となっている。

低栄養リスク判定	低リスク	中リスク	高リスク
30年度	52%	46%	2%
31年度	44%	47%	9%

昨年度と比較すると栄養状態の悪い高リスクと判定された方が増加している。

高齢者の低栄養の直接的な原因には食事摂取量の減少に伴う体重減少が関係するため、多職種による食事の観察（ミールラウンド）を行い、課題の把握と解決に努めていきたい。

2. 栄養アセスメント・ケア計画

低栄養のリスク判定に基づき、個々に対応したケア計画を作成している。

計画を実行後は、低リスク者は3ヶ月ごと、中リスク者は1ヶ月ごと、高リスク者は2週間ごとにモニタリングを行い、3ヶ月後に目標達成ができたか評価を行う。

目標を達成できなければ、多職種でカンファレンスを行い計画の変更か継続かを検討している。

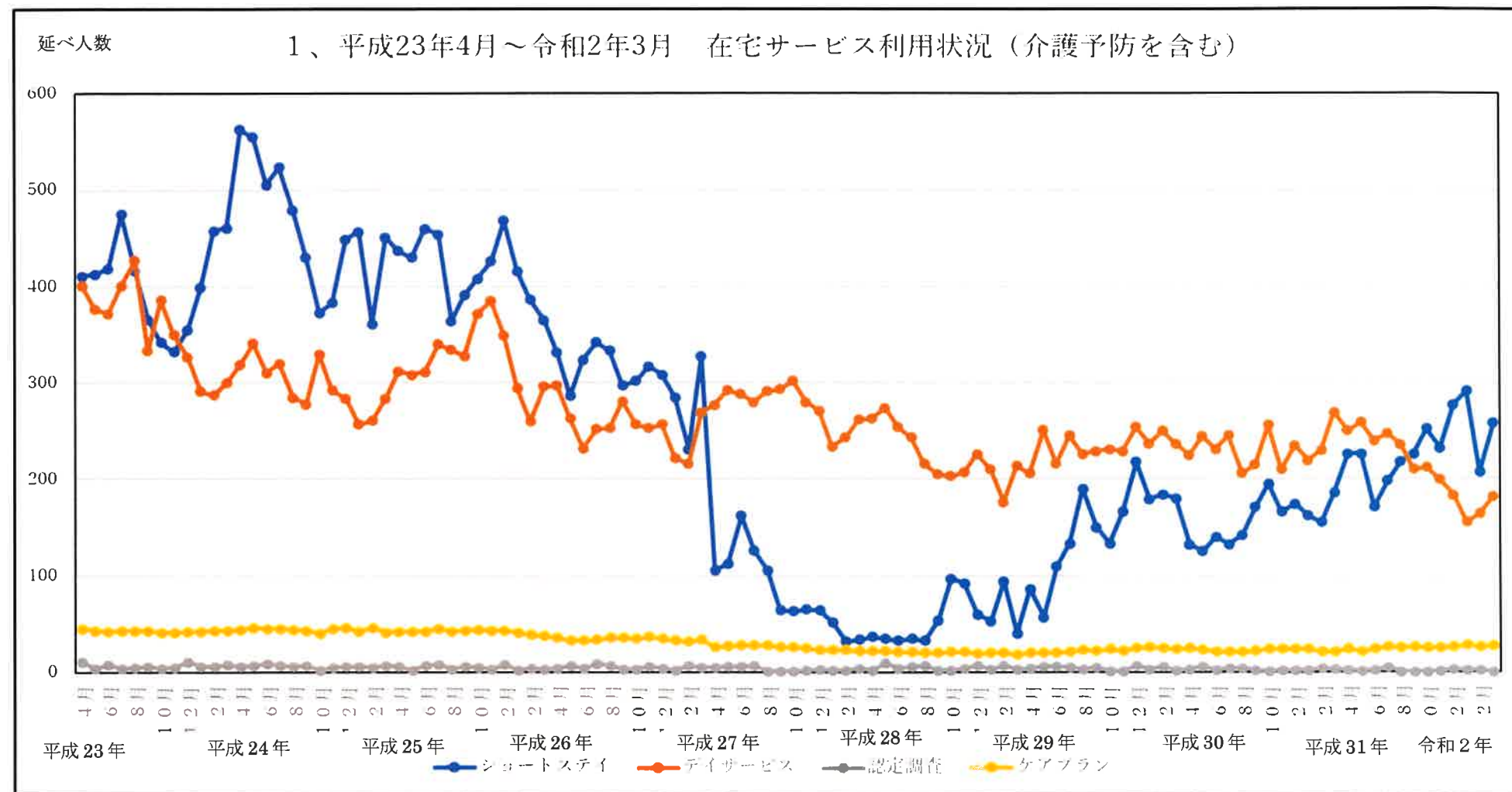
摂食・嚥下困難、口腔内の問題、姿勢保持の問題、認知機能低下などによって起こるさまざまな関連要因が低栄養につながるため、改善を図る際には単にエネルギー・栄養素の補給を目的とするのではなく、食べることに関連する徴候・症状を的確に把握し、安定した食事摂取を確保するために食環境を含め、各利用者に合ったケア計画の作成を心がけている。

3. 加算について

栄養関連の介護報酬として、栄養マネジメント加算、療養食加算、経口維持加算（Ⅰ・Ⅱ）の算定を行っている。

栄養マネジメントは短期入所者を除く入所者全員に実施しており、栄養状態の維持・向上に役立てている。
また、疾病により食事制限や特別な食事提供が必要な方には医師の指示に従い療養食の提供も行っている。平成 31 年 3 月末で、療養食提供は糖尿病食 2 名・心臓病食 4 名・腎臓病食 1 名の計 7 名である。
経口維持加算（摂食機能障害のある方に対する特別な栄養管理）の対象者は 2 名で食事形態の内訳はソフミキサー食 2 名である。今後は介護度の重症化により摂食機能障害の方が増えてくることが予想されるため、食事を安全に摂取するための対応の仕方や体制作りを継続して行っていきたい。

IV、居宅介護サービス、生活支援ハウス



2、短期入所生活介護

1) 短期入所生活介護利用状況(市町村別) (単位:人)

市町村	男	女	利用者数
榛原	6	22	28
室生	0	1	1
大宇陀	0	1	1
菟田野	2	0	2
宇陀市	8	24	32
御杖村	0	0	0
曾爾村	0	0	0
檀原市	0	0	0
桜井市	0	0	0
吉野郡	0	0	0
県外	0	0	0
合 計	8	24	32

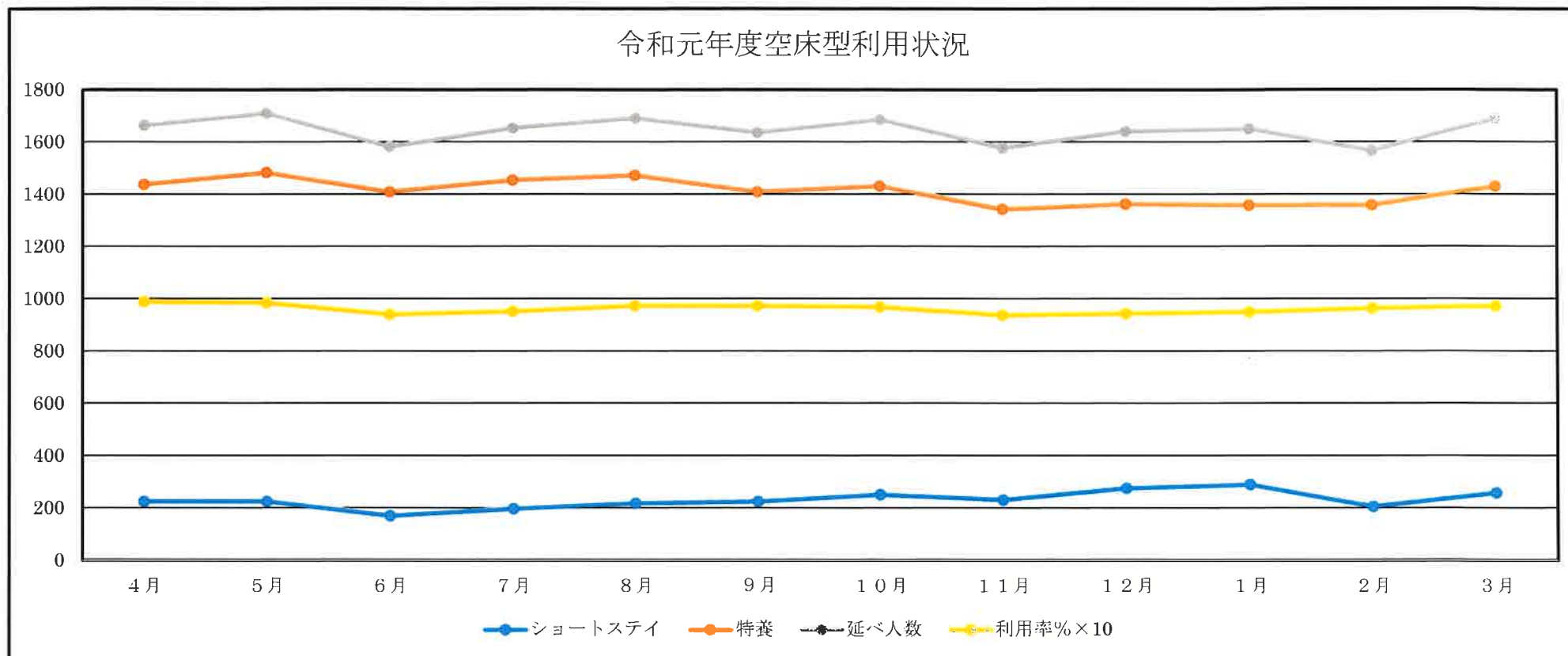
2) 短期入所生活介護月別利用者数(要介護度別) (単位:人)

月	要介護度							計
	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	1	1	0	4	5	2	0	13
5	0	0	0	2	3	5	1	11
6	1	0	0	2	3	3	0	9
7	0	1	0	2	3	3	0	9
8	1	0	0	2	4	5	0	12
9	0	0	2	4	5	4	0	15
10	0	0	1	1	5	2	1	10
11	0	0	1	3	5	3	1	13
12	0	1	2	3	3	4	1	14
1	0	1	1	3	4	4	1	14
2	0	1	1	4	4	3	0	13
3	0	2	1	2	4	3	0	12
計	3	7	9	32	48	41	5	145

3) 短期入所生活介護月別利用延べ日数(要介護度別) (単位:人)

月	要介護度							計
	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	4	5	0	40	149	28	0	226
5	0	0	0	33	78	111	4	226
6	2	0	0	3	90	76	0	171
7	0	2	0	33	82	81	0	198
8	11	0	0	4	91	112	0	218
9	0	0	31	6	82	107	0	226
10	0	0	31	2	149	53	17	252
11	0	0	4	6	143	49	30	232
12	0	1	33	13	93	106	31	277
1	0	1	31	16	98	114	31	291
2	0	4	29	23	91	60	0	207
3	0	7	31	33	95	92	0	258
計	17	20	190	212	1,241	989	113	2,782

3、令和元年度空床型特養の利用状況



考察

黄線が利用率を表している。ほぼ満床の状態が続いている。

4、通所介護

1)通所介護利用状況(市町村別)

市町村	利用者数(人)		
	男	女	合 計
榛原	9	22	31
室生	0	0	0
大字陀	0	0	0
御杖村	0	0	0
合 計	9	22	31

(単位:人)

2)通所介護月別利用者数(要介護度別)

月	要介護度								計
	経過的	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	2	4	5	8	3	2	1	25
5	0	1	6	4	9	4	3	1	28
6	0	1	6	4	8	5	3	1	28
7	0	0	8	4	9	4	1	0	26
8	0	0	8	3	10	3	0	0	24
9	0	0	10	3	10	2	0	0	25
10	0	0	8	3	9	4	0	0	24
11	0	0	7	2	10	3	0	0	22
12	0	0	7	2	9	2	0	0	20
1	0	0	6	2	7	1	0	0	16
2	0	0	6	2	7	1	0	0	16
3	0	0	7	2	7	1	0	0	17
計	0	4	83	36	103	33	9	3	271

3)通所介護月別利用延べ日数(要介護度別)

月	要介護度								計
	経過的	要支援1	要支援2	1	2	3	4	5	
4	0	15	51	52	90	20	20	2	250
5	0	14	54	52	84	26	27	2	259
6	0	12	49	40	78	35	25	1	240
7	0	0	78	51	81	27	10	0	247
8	0	0	76	45	97	18	0	0	236
9	0	0	74	42	81	13	0	0	210
10	0	0	66	42	80	24	0	0	212
11	0	0	66	35	81	17	0	0	199
12	0	0	65	34	78	6	0	0	183
1	0	0	54	28	65	8	0	0	155
2	0	0	56	32	65	11	0	0	164
3	0	0	62	35	73	12	0	0	182
計	0	41	751	488	953	217	82	5	2,537

令和元年度事業報告

4)通所介護日課表(標準的な場合)

8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
迎 え	看護師 による 体調 チェック 荷物 整理	入 浴 非入浴の利用者は、介護計画に 基づく個別行動 (手芸等のミニレクリエーション、 コミュニケーション、及び水分補給)					食事前 の 体 操	食事の準備 食 喫 事 茶	休養時間 個別リハビリ、 コミュニケーション 等	レクリエーション 不参加の利用者は、 介護計画に基づく 個別行動 (手芸・絵画等のクラ ブ活動や、個別リハ ビリ)			おやつ	カラオケ等		送 り	
※ あくまでも標準的な場合であり、通所介護計画や本人の体調、希望により時間的に変化する。																	

5)年間行事

4月	お花見 ホットケーキ作り 抹茶バウムクーヘン作り 鍼灸マッサージ 喫茶店	7月	七夕飾付け・短冊作り コーラスおもちゃ箱 すいか割り ホットケーキ作り フルーツ白玉作り 鍼灸マッサージ 喫茶店	10月	運動会 バーベキュー大会 栗どら焼き作り ハロウィン飾り作り かぼちゃモンブラン作り 鍼灸マッサージ 喫茶店	1月	書初め・絵馬作り カルタ・福笑い ぜんざい作り たこ焼き作り 鍼灸マッサージ 喫茶店
5月	開園記念日 藤見物 ピザパン作り 抹茶あん巻き作り 鍼灸マッサージ 喫茶店	8月	夏祭り かき氷作り ホットケーキ作り すいか割り 鍼灸マッサージ 喫茶店	11月	ぎょうざ作り スイートポテト作り 鍼灸マッサージ 喫茶店	2月	鬼退治 雛飾り チョコレートフォンデュ作り お好み焼き作り 鍼灸マッサージ 喫茶店
6月	七夕飾り作り お好み焼き作り ホットケーキ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店	9月	お月見飾り・ちぎり絵 お月見団子作り おはぎ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店	12月	クリスマス会 (ハートスマイル) さつまいもモンブラン作り 餅つき 鍼灸マッサージ 喫茶店	3月	ひな祭り 桜のちぎり絵作り クレープ作り おはぎ作り 鍼灸マッサージ 喫茶店

※ クラブ活動は、手芸、貼り絵、カラオケ、料理、園芸、音楽等。

機能訓練やレクリエーションは、平行棒による歩行訓練、輪投げ、ゴルフゲーム、ボールしりとり、テーブルカーリング等。

5、居宅介護支援事業

現在1名の主任ケアマネジャーで居宅介護支援事業を行っている。施設が24時間、365日の営業体制であるため、時間外のオンコール対応や緊急事態に対する対応もあったが、以前に比べると比較的落ち着いてきている。

緊急時には、短期入所の利用で対応できるため事なきを得ているが、その事が単独の居宅介護事業所にはない強みであると認識し、今後の事業展開に生かせるものとする。種々のサービスにアプローチするケアマネジャーとして他の事業所との差別化を計るべく努力を重ねている。

ご利用者の入退院時にはご家族を交えて病院とのカンファレンスを行い、連携をとっている。

令和2年に入り、新型コロナウイルスが全国的に蔓延し、感染予防の対策に迫られた。ご利用者の中には、来訪を嫌われる方もおられ、電話での対応とした。病院に入院中のご利用者にも会えない事もあるが、事業者間での連絡を密にして対応している。

令和元年度月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認定調査	2	1	2	5	0	0	0	1	3	2	2	0
要介護支援	19	16	15	16	15	16	15	16	16	18	16	16
予防介護支援	5	5	9	10	10	10	10	9	10	10	10	11
介護支援総計	24	21	24	26	25	26	25	25	26	28	26	27

内、入退院者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院	2	1	0	0	0	2	1	1	0	2	0	0
退院	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0

6、給食サービス

給食サービスは平成8年に宇陀市から委託を受け、榛原地区内の食事の調達が困難な老人世帯を対象に、当施設で調理した弁当を配達する事業である。

主な目的は、在宅高齢者が健康で自立した生活を送ることができるよう健康の保持を支援することと安否の確認である。榛原を2つの地域に分け、2施設で事業を分担している。

当施設の方針としては、弁当の見栄えよりも、できるだけ市販の弁当にはない、家庭的で食べやすい料理を目指して献立作成をしている。

量的には、栄養補給を考えると多いほうがいいが、出来るだけ一度に消費しきれる分量を考慮している。また、傷みやすい食材を除いたり、蛋白質をたくさん摂取できる献立や、季節・行事に合わせた献立を作成するように心掛けている。サービスを利用されている高齢者にも料理が大変好評で、喜んでいただいている。

しかし、弁当を配達する事よりも手渡しを原則として安否確認を行うウェイトが大きく、時には生命にかかわる事もある。最悪の場合、配達に行った先で利用者が亡くなっていることもある。不在の時には所在確認に時間を割かれるが、人道的な事業であり市役所や宇陀市医療介護安心センターとも連携して行っている。これも地域貢献と考える。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用 食数	35	40	31	39	50	39	49	26	28	31	32	32	432

(単位：食)

7、生活支援ハウス

1) 利用状況

(単位: 人)

	平成31年	令和元年								令和2年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所者数	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
退園者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者総数	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

2) 年間行事

お花見
藤見物
バーベキュー大会

インフルエンザ予防接種
七夕飾り
餅つき

※ その他、特別養護老人ホーム、通所介護部門でのクラブ活動や行事に参加。

3) 建物、設備の保守、修理

生活支援ハウスを新築してから約19年経過した。設備は随時保守点検、修理してきたが、部品の供給も難しくなっている設備も有る。ボイラーや業務用エアコンは出来るだけ修理する様にしているが、家庭用設備の部品がなく交換せざるを得ない状況となっている。平成30年度はファンヒーター2台と居室用エアコン5台を新型に取り替えた。今年度は残りの居室用エアコン7台を新型に取り換えた。建物は毎年点検し大きな指摘事項は無いが、大規模な修理となる前に、屋根や外壁の塗装等やメンテナンスの時期を検討したい。

V、令和元年度実施事業

今年度の大きな事業はなかったが、備品等の入れ替えが多かった。

- 1、令和元年 7 月 生活支援ハウスの居室エアコン 6 台の新型への交換。 766,800 円。
- 2、令和元年 12 月 パソコン 5 台。ウインドウズ 7 から 10 への入れ替え。 850,194 円。
- 3、令和 2 年 2 月 冷蔵庫入れ替え 360,290 円。冷凍庫入れ替え 374,000 円。
- 4、令和 2 年 3 月 防犯カメラ 7 台 更新。 398,720 円。